

科目名	アンサンブルⅢ		担当講師	曾山、中田、木村、田森、永盛	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカル専攻、ギター専攻、ベース専攻、ドラム専攻		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	36 回	1回あたりの授業時間	270(90・135) 分
修 得 目 標	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上させる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン1 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
2	5月10日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン2 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
3	5月11日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン3 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
4	5月12日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン4 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
5	5月15日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン5 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
6	5月17日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン6 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
7	5月18日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン7 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
8	5月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン8 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
9	5月22日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン9 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
10	5月24日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン10 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
11	5月25日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン11 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
12	5月26日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン12 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
13	5月29日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン13 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
14	5月31日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン14 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
15	6月1日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン15 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
16	6月2日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン16 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
17	6月5日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン17 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
18	6月7日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン18 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
19	6月8日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン19 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
20	6月9日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン20 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
21	6月12日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン21 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
22	6月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン22 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
23	6月15日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン23 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
24	6月16日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン24 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
25	6月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン25 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
26	6月21日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン26 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
27	6月22日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン27 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
28	6月23日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン28 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
29	7月3日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン29 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
30	7月5日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン30 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
31	7月6日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン31 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
32	7月7日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン32 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
33	7月10日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン33 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
34	7月12日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン34 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
35	7月13日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン35 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
36	7月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン36 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
評価方法	作品提出評価(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	126時間中 43時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ギター実習Ⅲ		担当講師	曾山良一	
講師実務経験	ギタリスト・作曲家として40周年				
対象学年	2 学年	対象コース	ギター専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	あらゆるスタイルでの演奏を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング チューニングの精度について 実践			
2	5月11日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング コードEx① バッキングEx			
3	5月16日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング コードEx② バッキングEx アドリブEx			
4	5月18日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング コードEx③ バッキングEx(Song Ex)			
5	5月23日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング CapoコードEx① アドリブEx			
6	5月25日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング CapoコードEx② アドリブEx			
7	5月30日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング CapoコードEx③ アドリブEx			
8	6月1日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング Song Ex① インプロビゼーションEx			
9	6月6日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング Song Ex② (初見演奏Ex)			
10	6月8日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング capoコードEx～Song Ex			
11	6月13日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング Song Ex③(初見・インプロビゼーション)			
12	6月15日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング 音色講座・実践・インプロビゼーションEx			
13	6月20日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング SongEx④ アドリブEx			
14	6月22日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング SongEx⑤ インプロビゼーションEx			
15	7月4日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング コードアレンジEx アドリブ研究			
16	7月6日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング Cutting Ex アドリブEx			
17	7月11日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング 機材研究(現物実践・EF・ケーブルetc)			
18	7月13日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング インプロビゼーション まとめ～心得			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	編曲Ⅲ			担当講師	谷津 祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師					
対象学年	2	学年	対象コース	ヴォーカル専攻、ギター専攻、ベース専攻、ドラム専攻		授業形態 実習
期間	前期	総授業回数	9	回	1回あたりの授業時間 135 分	
修得目標	1年次に学んだ基礎知識を発展させ、楽曲分析や実践を通じてより高度な編曲の力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	5月9日	授業ガイダンス／様々なコードパターンを活用した編曲1				
2	5月16日	様々なコードパターンを活用した編曲2				
3	5月23日	様々なコードパターンを活用した編曲3				
4	5月30日	楽曲分析と編曲1				
5	6月6日	楽曲分析と編曲2				
6	6月13日	楽曲分析と編曲3				
7	6月20日	総合的な編曲1				
8	7月4日	総合的な編曲2				
9	7月11日	総合的な編曲3				
評価方法	作品提出評価(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト	各自五線紙を用意すること／授業内で随時プリント配布					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	DTMⅢ			担当講師	谷津祐子		
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象コース	ヴォーカル専攻、ギター専攻、ベース専攻、ドラム専攻		授業形態	実習
期間	前期	総授業回数	9	回	1回あたりの授業時間		135 分
修得目標	1年次の学習内容を応用してPCを活用した作曲・編曲の力を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	5月10日	音楽を構成する要素と効果について					
2	5月17日	テーマに沿った制作1-1					
3	5月24日	テーマに沿った制作1-2					
4	5月31日	テーマに沿った制作2-1					
5	6月7日	テーマに沿った制作2-2					
6	6月14日	テーマに沿った制作3-1					
7	6月21日	テーマに沿った制作3-2					
8	7月5日	テーマに沿った制作4-1					
9	7月12日	テーマに沿った制作4-2					
評価方法	作品提出評価(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	各自五線紙を用意すること/授業内で随時プリント配布						
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	音楽史		担当講師	曾山良一	
講師実務経験	ギタリスト・作曲家として40年				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカル専攻、ギター専攻、ベース専攻、ドラム専攻		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間 45 分	
修 得 目 標	西洋音楽から現在のポピュラーミュージックのルーツを知り修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	ポピュラーミュージック史についての授業ガイダンス			
2	5月19日	「音楽」のはじまりについて			
3	5月26日	ラテン音楽からみるスタイルの発展について			
4	6月2日	1930年代からみるポピュラーミュージックの流れ①			
5	6月9日	1930年代からみるポピュラーミュージックの流れ②			
6	6月16日	モータウンレコードサウンドについて			
7	6月23日	ポピュラーミュージックと楽器・編成について			
8	7月7日	楽器メーカーからみる音楽史について			
9	7月14日	世界のの名演・ピックアップ映像			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	9時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽ビジネス		担当講師	曾山良一	
講師実務経験	ギタリスト・作曲家40年				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカル専攻、ギター専攻、ベース専攻、ドラム専攻		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間 45 分	
修 得 目 標	音楽産業の全体を知り、自己の立場を考えることを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	音楽産業という世界について			
2	5月19日	デビューに際しての3大契約について			
3	5月26日	レコード会社について			
4	6月2日	プロダクションについて			
5	6月9日	音楽出版社について			
6	6月16日	プロモーションについて			
7	6月23日	ライヴハウス考			
8	7月7日	エンターテインメント～音楽の未来について			
9	7月14日	まとめ 質疑応答			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	9時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	著作権論		担当講師	曾山良一	
講師実務経験	現 JASRAC・CISAC・MPN会員・作曲家				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカル専攻、ギター専攻、ベース専攻、ドラム専攻		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間 45 分	
修 得 目 標	音楽著作権の意義を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	作曲家としての経験からの自己紹介			
2	5月19日	著作権の定義			
3	5月26日	著作権の保護期間			
4	6月2日	著作権の管理形態・方法について			
5	6月9日	JASRAC・CISAC・MPN・BIEMIについて			
6	6月16日	著作権・隣接権・支分権について①			
7	6月23日	著作権・隣接権・支分権について②			
8	7月7日	著作権が及ばない事例について			
9	7月14日	まとめ・質疑応答			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	9時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(新入生歓迎ライブ前)		担当講師	曾山 良一・田森 正行 中田 有紀・木村 佳子・永盛 岳生	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカル専攻・ギター専攻 ・ベース専攻・ドラム専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	イベント実施に向けて連続的にイベント準備を進める事で、より実践的に知識や技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン1			
2	4月18日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン2			
3	4月19日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン3			
4	4月20日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン4			
5	4月21日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン5 サウンド・ステージ&ミュージシャン合同リハーサル日			
6	4月24日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン6			
7	4月25日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン7			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント実践(定期公演前)		担当講師	曾山 良一・田森 正行 中田 有紀・木村 佳子 永盛 岳生	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカル専攻・ギター専攻 ベース専攻・ドラム専攻		授業形態
期 間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	各専攻間での連携、コミュニケーションを応用し、より実践的な技術、知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	8月21日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン1			
2	8月22日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン2			
3	8月23日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン3			
4	8月24日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン4			
5	8月25日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン5			
6	8月28日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン6			
7	8月29日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン7			
8	8月30日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン8			
9	8月31日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン9			
10	9月1日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン10			
11	9月4日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン11			
12	9月5日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン12			
13	9月6日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン13			
14	9月7日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン14			
15	9月8日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン15			
16	9月11日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン16			
17	9月12日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン17			
18	9月13日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン18			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	108時間中 37時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				